

March 2020

大宣教命令

しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。

(使徒の働き 1 章 8 節)



聖所から流れ出る水ミッション

皆様の尊いお祈りとご献金を有難うございます。中国の湖北省武漢を中心に発生した新型コロナウイルスによる肺炎の感染症のニュースが全世界を駆け巡っています。人から人へ感染する感染症の中でも今までに例がない猛烈なスピードで日本を始め、全世界の各国で感染者が出ています。17年前に流行し、多くの人が死亡した重症急性呼吸器症候群(SARS)の事例を上回る深刻な事態となっています。

黙示録の時代には疫病などによる大きな被害や様々な困難があることが予告されています。聖書と照らし合わせ、世の終わりのしるしとしてとらえていく必要があります。主イエスは天に帰られる前に、弟子たちに宣教を命令されました。大宣教命令です。主イエスの再臨に向けて、主に示された福音宣教の働き、大宣教命令を実行しなければなりません。福音宣教の働きの中心は聖霊です。わたしたちが正しく主に聞き従っていくとき、従う者を用いて聖霊が働かれ、聖霊が働きを全うして下さることを覚える必要があります。

昨年の12月に派遣された東ヨーロッパのチェコチームでは、前もって預言で主に示されていた通り、賛美グループと日本語のオリジナル賛美曲が大きく用いられました。賛美を通して聖霊が多くの人々に臨み、号泣する人や救われる人が起こされる等々、主の豊かなご臨在が現され、聖霊が多くの人に深く触れられていたことを実感する派遣となりました。

当ミッションの使命は終末のリバイバルと世の終わりの働きです。預言を通して、ヨーロッパ宣教は東ヨーロッパから始まると語られていた通り、特に、「預言-その実際と運用」(パウロ秋元著、雲の間にある虹出版発行)の本の翻訳版と共に、チェコ、ポーランド宣教が進み、そして、西ヨーロッパを含めたヨーロッパ全体の宣教に進展、発展して行こうとしています。更に徹底して主に祈り聞き従うなかで、主が約束を成就し、主が栄光を現して下さいます。

写真：2019年12月

長崎殉教聖会でメッセージする
パウロ秋元牧師(中央)

